

○ 重伝建選定祝賀行事

①祝賀前夜祭を実施（10月1日、祇園寺）

重伝建選定記念シンポジウムを翌日に控え、祇園寺本堂で前夜祭をが開かれました。

最初に重伝建選定を祝う日本舞踊の藤流三番叟が演じられ、続いて今枝社中の祝いの門付け万歳、御殿万歳が演じられました。そして有松のまちや絞りの誕生から現在までを「有松の今昔物語」として、いのこ福代さんの一人語りで聞きました。

開演途中、明日開催の有松山車まつりのお触れである囃子込み（西町）を祇園寺境内で見学しました。



尾張万歳

②重伝建選定シンポジウムの開催（10月2日、小学校体育館、名古屋市）

主催者代表河村市長の挨拶

- ・名古屋は全国で一番魅力のない町と云われている。
- ・しかし、名古屋には、北に名古屋城、南に有松・桶狭間という歴史的観光資源があり、活用する必要がある。
- ・南の有松・桶狭間には魅力ある4つの宝がある。
それは、絞り、重伝建の町並み、3台の山車（布袋車は江戸前期製）、桶狭間古戦場である。
- ・また、清州城→桶狭間の信長進軍ルートは「人生大逆転街道」である。
- ・名古屋市は、これら歴史のお宝を有効に活用し、来訪者増を図る施策に大きな予算を付けているので、名古屋を魅力ある町になるよう地元も努力してほしい。



開会挨拶をする河村市長

○ 「緑区区民まつり」で重伝建選定をPR（10月22日 事業部）

大高緑地で開かれた区民まつりの「有松重伝建PRコーナー」で重伝建選定となった有松をPRしました。

重伝建パネル8枚の掲示と説明パンフレットの配布、有松の3つの宝の内の山車まつりDVDおよび有松土産の焼菓子「有松しばり ひとめ」の販売を行いました。

コーナー訪問者は100名を超えました。絞りまつりや山車まつりを見た人がほとんどでしたが、改めて重伝建になった有松を説明し、認識を深めていただきました。



有松重伝建PRコーナー

○ 有松桶狭間観光振興協議会（10月25日）

①町並み案内所設置検討状況（観光推進室）

西の案内所（旧山田薬局）は「お洒落の魅力」、東の案内所（服部良也邸）は「歴史の魅力」発信拠点とする方針が示され、今後ワーキンググループで検討・充実されていきます。

各案内所は2名体制で、平成29年1月15日（日）に開所する予定です。

○ 有松山車まつり開催される（10月1日、2日）

有松山車まつりは、前夜祭の「出御（しゅつぎょ）の儀」で頂いた御幣（ごへい）を梵天の先端に掲げ、有松東海道を御神幸（ごしんこう）していただくことから始まりました。

翌日の本祭は、晴天に恵まれ、総参りの「還御（かんぎょ）の儀」まで、まつり神事が順調に行われました。昨年からはまった中町交差点での車切り（しゃぎり）は今年も見事に行われました。夜祭りには女子も囃し方として山車に乗り、まつりを盛り上げていました。



山車曳き

○ 「こども相撲」と藍流の「鳴子踊り」がまつりに協賛（10月2日）

午後2時から、山車まつりの合間を活用し、絞会館駐車場で「こども相撲大会」と、藍流チームによる「鳴子踊り」が行われました。（藍流（あいる）：緑区の鳴子踊りのチーム）



こども相撲大会



藍流の鳴子踊り

○ 登録地域建造物の「絞りカフェ」への再生出資募集中

築100年の旧竹田家はなれを『有松鳴海絞のライブラリカフェ』に再生するプロジェクトが始まりました。推進者は「NPO法人コンソーシアム有松鳴海絞」の中村 俣子代表です。

この再生事業は「なごや歴史的建造物保存活用工事助成」制度を活用して行われています。これは、出資目標額が集まれば名古屋市からの助成が可能となる制度ですので皆さまからの出資をお待ちしています。出資方法等は、ホームページ「有松のまち」の新着情報に掲載していますのでご覧ください。



旧竹田家はなれ

365名の生徒が12の講座に分かれて、地元の有識者を講師として、自分たちの学校がある地域の自然や歴史、生活や文化、産業、環境などを調査・観察・体験して、勉強しました。中学生のみなさんは、新しいことを学ぶ知的好奇心や探究心にあふれていました。特に現地学習には、大変興味を示し、この地域のよさや誇りを十分理解したと思われまます。そして将来、地域に貢献できる人物となることが期待されます。



○ 棚橋邸での展覧会 2題

① 緑区今昔写真展 開催（10月2日）

緑区観光推進協議会主催で緑区の魅力をPRする目的で開催されました。有松・鳴海・桶狭間・大高・徳重の5地区の紹介パネルと今昔写真を展示しました。

② 第2回コスモス絵画展 開催（10月8日～10日）

太田百合子さんはじめ同好の9名が、絵画・版画・写真の展示を行いました。

落ち着いた空間での展覧会は、趣きのあるものでした。



○ 重伝建のまち有松の伝統的建造物（その3 石碑）

伝統的建造物に特定された石碑は3基あり、いずれも絞会館奥の高台に設置されています。

① 有松絞開祖 竹田庄九郎碑および

② 頌徳（しょうとく）併有松絞由来碑

①の字題は徳川義親侯爵（尾張徳川家当主）の親筆

②の篆額（てんがく）は貴族院議員坂本鈺之助氏、
撰文は浅野哲夫氏が行いました。

竹田庄九郎武則：

天正18（1590）年生～寛文2（1662）年没

碑建立：昭和7（1932）年

建立者：有松絞商工同業組合有志

③ 鈴木金蔵君紀功之碑

鈴木金蔵氏は、嵐絞を考案し、絞染の効率を一気に上げ、さらに氏が発案した絞りの技術、技法は枚挙にいとまがありません。絞り中興の祖として遺徳を偲び、碑が建てられました。

尾張の殿様であった徳川義禮侯爵が篆額に「鈴木金蔵君紀功之碑」と彰書しました。

鈴木金蔵：天保8（1837）年生～明治34（1901）年没

碑建立：明治29（1896）年

建立者：絞業関係者



中央：①有松絞開祖 竹田庄九郎之碑

右側：②頌徳併有松絞由来碑

左側：③鈴木金蔵君紀功之碑

○ 「竹灯籠」製作奮闘中

「晩秋の有松を楽しむ会」に併せて開催する「竹あかり」用竹灯籠の製作が進められています。

この「竹灯籠」は、孟宗竹に図柄に合わせた切り込みや穴をあけたものです。竹筒にローソクを入れ、切れ込みや穴から漏れる光を楽しむものです。

MADOの大島さんをトップにボランティアの皆さんは、切り込みや穴あけに大変苦勞しています。

11月12日の夜、数百本の竹灯籠を西町東海道両側に立て、「竹あかり」で幻想的に町並みを彩る計画です。



竹灯籠製作風景

○ 重伝建選定記念祝賀行事の協賛金について

- ・協賛金受付は、11月末をもって終了とさせていただきます。協賛いただいた方のお名前は12月末発行の重伝建選定記念誌に掲載させていただく予定です。

○ 催事・行事の予定

- ・11月01日（火） 14:00 「観光の視点から見る有松の魅力」 棚橋邸 溝口正人氏
- ・11月02日（水） 09:30 やっとかめ文化祭 まち歩き有松 有松駅
- ・～11月5日（土） 有松重伝建選定記念 歴史まちづくりパネル展 都市センター 歴まち室
- ・11月05日（土） 13:30 やっとかめ文化祭 まちなかキャンパス 絞会館
「重伝建“有松”の来し方行く末を考える」 井澤知且氏
- ・11月06日（日） 09:00 有松東海道青空市 商工会周り 商工会
〃 10:00 第28回あいち都市緑化フェア 大高緑地 愛知県
- ・11月10日（木） 09:30 やっとかめ文化祭 まち歩き桶狭間 有松駅
- ・11月12日（土） 10:00 やっとかめ文化祭 寺子屋 有松絞りの可能性 旧・東湯
- ・11月12日・13日 10:00 晩秋の有松を楽しむ会 有松東海道一帯
- ・11月12日（土） 17:00 文化財のライトアップ（中濱邸、井桁屋、棚橋邸、服部良也邸）
〃 17:00 「竹あかり」 西町東海道 竹あかり実行委員会
- ・11月19日・20日 10:00 有松コミセンまつり コミセン・小学校体育館（20日のみ）
- ・11月19日（土） 13:00 重伝建選定記念植樹 ありまつ公園
〃 19:00 重伝建選定提灯行列 有松東海道
- ・11月20日（日） 09:00 有松東海道青空市 商工会周り 商工会
- ・11月21日（月） 18:00 有松町並み相談会 コミセン
- ・11月22日（火） 18:00 有松桶狭間観光振興協議会役員会 絞会館
- ・11月27日（日） 07:30 かえで道清掃 まちづくりの会
- ・11月28日（月） 18:00 重伝建推進委員会 コミセン
〃 19:00 まちづくりの会役員会 コミセン

発行者：竹田嘉兵衛（有松まちづくりの会 副会長）

編集者：加藤 一成（有松まちづくりの会 広報部員）

T・F 052-623-1676 090-4163-2671 E-mail katoisse@mc.ccnw.ne.jp

：有松まちづくりの会ホームページ

有松のまち

検索